



◇ 衣替えの必要性 ◇

今年の夏は暑い期間が長く、一日に何度もシャツを取り換える日も多かったのではないのでしょうか。それでも、最近は涼しい風を感じる機会が増え、しっかりと秋の訪れを感じとれる気温になりましたので、そろそろ次の季節に備え衣類の衣替えを行う頃かと思います。

昨今は、気候変動により、季節の境界が曖昧であることや、シーズンレスファッション・ミニマリズムの考え方などにより衣替えを行わない（必要としない）方が増えているそうです。ですが、気候やライフスタイルに合わせて衣服の選択を適切に行うことは、快適さと健康につながりますので、是非一度、今シーズン活躍した衣類を見直ししてみたいはいかがでしょうか。

◇ 衣替えの工程 ◇

< 1.仕分け作業 >

まずは、仕分け作業を行いましょう。判断基準としては、繊維の状態、型崩れ、色あせ、サイズ、デザイン等を見極め来年も着用することができるモノかどうかを判断します。この作業を行うことで、クローゼットや衣装ケースのスペースの最適化を行うことができます。

< 2.洗濯とクリーニング >

仕分けた服を洗濯やクリーニングする必要がある場合は、それを行います。昨今、クリーニングは、着用する”前”に行う方も増えているようですが、汚れは時間の経過とともにシミが酸化して浮きでたり、皮脂を栄養とする虫に食われるリスクも高くなってしまふ為、しまふ”前”に行うことが正解です。

洗濯とクリーニングが済んだら、完全に乾燥させてから収納します。汚れたままの服を収納すると、カビや臭いの原因になります。

< 3.収納する >

・収納する衣類の量は、スペースの8割が理想！

ぎゅうぎゅうに詰め込んでしまうと通気性も悪くなり、シワの原因にもなります。余裕をもって収納することで衣類の状態も保てる上、取り出しやすくなります。

・ 防虫剤は使用量を厳守

虫食いリスクを減らすために、防虫剤を使用しましょう。防虫剤の使用量は製品によって異なります。

つつい説明書を読まずにポイポイと入れてしまいがちですが、パッケージに記載の使用量をしっかりと確認しましょう。

また、防虫剤のガスは重たいため、下に降りていきます。衣類を畳んでしまう場合には、防虫剤は衣類の上部に置きましょう。

◇ 衣類収納の工夫 ◇

衣類の整理と収納は、快適な住環境整備にとっても重要なポイントです。大げさに聞こえるかもしれませんが、衣類の収納は毎日必ずアクセスする場所であり、収納品の点数が多く、出し入れの頻度が高い、さらにその収納品の出し入れに多くの人がかかわる高難易度ポジションです。

衣類収納のポイントをおさえておきましょう。

< 衣類収納のポイント >

1. カテゴリー別に整理する
2. 季節ごとに衣替えを行う
現在の季節に適した服を前面に、季節外れの服は別のスペースに移動。
3. 使用頻度に応じた収納
よく使う服はアクセスしやすい場所に収納し、使用頻度の低い衣類は奥の引き出しや高い場所にしまっておくことで、スペースを節約できます。
4. 収納方法を選ぶ
衣類は畳んで収納する方法や、ハンガーに吊るす、ボックスにしまふ等、利用頻度、保管方法を考慮し収納方法を選びましょう。
5. 定期的な整理と寄付
不要な服やアイテムを定期的に整理し、寄付またはリサイクルに出しまふよう。

家族全員が快適に『出し入れ』ができるように共通のルールを設ける等の工夫もよいかもしれません。全員と協力して快適な住環境を作りましょう

（著・業務企画部 岩崎由希江）

建築情報や知識は、ファース本部オフィシャルサイトで！



ファースの家

検索

